



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

2019 年度末公開成果報告会

日時:2020年2月29日(土) 13:00~17:40 参加自由・事前登録無し

場所:慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6F G-Lab 入退室自由

<https://abelard.flet.keio.ac.jp/seminar/annual-meeting-logic-sensitivity-2019/>

(発表順は変更の可能性があります。プログラムの最新情報は上の URL をご覧ください)

12:45 開場

13:00 開会

開会の挨拶:岡原正幸(社会学研究科委員長)

**Session I Communication and Interaction**

発達科学グループ(司会:山本淳一)

山本絵里子(本センター)

幼児における身体リズムの認知:fNIRS 研究

生物心理学グループ

伊澤栄一(文学部)

カラスの優劣交渉場面における自律神経の機能

遺伝と教育グループ

安藤寿康(文学部)

学業成績と教育格差の行動遺伝学的研究

14:05-14:15 Coffee Break

14:15 **Session II**

**Research Ethics · Research responsibility**

倫理学グループ

奈良雅俊(文学部)

社会科学・行動科学研究における倫理

社会心理学グループ

平石界(文学部)

(社会)心理学の理論と再現性の微妙な関係

本センター総合報告

岡田光弘(文学部)

論理と感性のグローバル研究センター 8年間

(及び前身 COE10 年間)の歩み

15:05-15:15 Coffee Break

15:15 **Session III Culture and Art**

文化人類学グループ(司会:北中淳子)

榎原克哉(東京通信大学)

外来精神医療の社会学 —〈メンタルクリニック〉の興隆と求められる治療—

美学美術史グループ(司会:後藤文子)

山根千明(本センター)

ヴァイマル・バウハウスにおける色光 — 色彩療法の観点から —

論理・意思決定グループ(司会:岡田光弘)

井出野尚(徳山大学・本センター)

合理的多属性意思決定を支援する表デザインに向けた基礎研究

16:15 Coffee Break

16:30 **Session IV Imaging and Cognition**

認知神経科学グループ(司会:梅田聡)

柴田みどり(本センター)

色字共感覚者における画像処理メカニズム — 事象関連電位による検討 —

認知心理学グループ(司会:梅田聡)

松尾加代(本センター)

記述による目撃記憶の想起促進:目撃者遂行型調査の効果の検討

感性科学グループ(司会:川畑秀明)

川畑秀明(文学部)

顔形態分析による対人印象の次元とその要因

17:30

閉会の挨拶:倉田敬子(文学研究科委員長)

オードブル&ドリンク(於会場)

Global Research Centre for  
Logic and Sensibility

主催:慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター (<http://www.carls.keio.ac.jp/gcarls/>)

お問い合わせ先:本報告会事務局 (e-mail: [logic@abelard.flet.keio.ac.jp](mailto:logic@abelard.flet.keio.ac.jp))